



Release Notes—lo XT version 10.1

全般

このソフトウェアは、lo XT用の初回リリース版ソフトウェアです。他社のビデオキャプチャカードまたはドライバをインストールしたことのあるコンピュータにlo XTをインストールする場合は、インストールを行う前に、KONAソフトウェアに付属する「AJA Conflict Checker」を使用してください。「AJA Conflict Checker」は新しいドライバをインストールするにあたって取り除く必要がある古いドライバやソフトウェアファイルを特定するのに役立ちます。また、初めてAJA製品を使う場合は、Read Me First書類、ユーザマニュアルを必ず確認してください。

重要な記載事項—必ずお読みください

ドライバをインストールした後にMacが起動しなくなった場合は、セーフブート（Shiftキーをおしながら起動）後にドライバをアンインストールし、NDD版のドライバをご使用ください。NDD版ドライバをインストールした場合、Macintosh Desktop Display機能はご利用頂けません。

新機能

- ・ AJAによる最初のThunderbolt対応デバイス
- ・ AJAコントロールパネルのビデオ設定タブを使用して、強制的にプログレッシブ出力を行える機能を追加
この機能は1080PsF素材の編集をツール プログレッシブ信号の入力を必要とするHDMIモニターでモニタリングするAvidユーザーに便利です。

改良と修正点

- ・ 新しいデザインのAJAコントロールパネルにタイムコードタブを追加

重要な注意点

AvidソフトウェアでAJAハードウェアを使用するためには、AJAドライバのバージョンと互換性のあるAJA オープンIO プラグインをインストールする必要があります。古いオープンIOプラグインがインストールされているのに、AJAドライバの新しいバージョンが使用されている場合などは、AJAハードウェアを介してのオーディオ/ビデオ入出力が正常に機能しなくなることがあります。AJAドライバとオープンIOプラグインの正しい組み合わせは、AJAとAvidのページを確認して下さい。 <http://www.aja.com/support/avid/index.php>

lo XTの注意点

lo XTはThunderboltのプラグ・アンド・プレイ機能に対応します。しかし多くのアプリケーションは入出力デバイスが使用中に取り外された場合、それを検知しなかったり正しく動作しません。アプリケーションの使用中にlo XTを取り外す場合は、一旦アプリケーションを終了して取り外し、lo XTが再接続された後にアプリケーションを再起動することをお奨めします。

また、lo XTは2つめのThunderboltポートを介してストレージレイなどのデバイスを接続する事が出来ますが、lo XTをコンピュータから取り外した場合、これらのデバイスもオフラインとなることに注意して下さい。